

## 令和4年度 松川村営農支援センター 有機野菜プロジェクト 実施報告

令和5年3月 作成

### ○これまでの経緯

令和元年度に、村民の要望をきっかけに始まった事業です。これまで有機農業による野菜の試験栽培を行い、野菜は村内私立保育園給食に使用していただいているほか、村内道の駅の直売所や、安曇野ちひろ公園、大王わさび農場などのマルシェに出品してきました。栽培管理には、若い世代、非農家、シュタイナー療育センターの園児・利用者、地域おこし協力隊を中心に、ボランティアでご参加をいただいております（令和4年度は年間のべ150名程度）、「村民参加型」の事業となってきています。

### ○事業目的

1. 村内の保育園給食で使う野菜を栽培する村民参加型の農園をつくることで、非農家（若い世代・移住者等）にも松川村の農業に参加してもらい、松川村の基幹産業であり、私たちの暮らしに欠かせない農や食を身近に感じてもらう。
2. 野菜の栽培は有機農業で行うことを目指し、松川村の農業に有機農業という選択肢を提案する。
3. 野菜の販売活動を通じて村外者に松川村を知ってもらい、関係人口を創出する。

### ○令和4年度の実施内容

#### ① 有機農業による野菜の栽培を村民参加型で行った。

##### ≪目標と反省点≫

- ・ 回覧等で参加者を募集し、毎週水曜日、土曜日（月1回）に圃場作業を実施  
【達成】途中から野菜教室の参加者と交流できるよう火曜日に変更した。土曜日に実施したからといって参加者が増えることはなかった。
- ・ 野菜の栽培管理の参加者50名以上  
【?】年間のべ150名程度。新たな参加者も増えたが、昨年からの参加者は減り、毎回の参加者数は横ばい。小学校低学年くらいまでの子どもと母親の参加が多かった。年間を通じてシュタイナー療育センター森の工房の職人さんにもご参加いただけたほか、松川中学校特別支援学級の生徒が参加するなどした。途中、参加者にアンケートを行い14名からどのような目的で参加しているか等ご回答いただいた。
- ・ 栽培した野菜を料理し試食する交流会の実施（年1回・冬）  
【未達成】
- ・ すずむし認証の取得

## 【未達成】

- ② シュタイナー療育センター給食、松川村南・北保育園給食（寄って停まつかわ経由）に野菜を試験販売する。松川村「有機給食の日」が創設されれば野菜を使用してもらおう。

### 《目標》

- ・ 給食で使用できる、品質が良く、規格の揃った野菜の販売  
【達成】シュタイナー療育センターの給食用野菜として年間を通じて販売したほか、寄って停まつかわ経由で松川村北保育園にタマネギを販売し、給食（カレー）に使用された。
- ・ 給食用野菜の栽培品目はタマネギ、ジャガイモ、サツマイモ、夏まきニンジン、秋まきダイコン

### 【達成】

- ③ 安曇野ちひろ公園おさんぽマルシェ、寄って停まつかわ直売所、大王わさび農園大王マルシェで野菜を試験販売する。

### 《目標》

- ・ 余剰野菜・規格外野菜の販売
- 【達成】
- ・ 野菜の販売を通じた松川村のPR

### 【達成】

## ○まとめ

- ・ 概ね計画通り実施できた。
- ・ 新たな参加者が増え、親子で気軽に参加できる体験・交流の場といった雰囲気に落ち着いた。
- ・ 野菜5品目を栽培し、私立保育園給食、各直売所・マルシェ等に販売でき、若干ではあるが黒字化できた。
- ・ 北保育園に給食用として玉ねぎを出荷することができた。しかし、今後も継続して販売するとなれば保育園・教育委員会との連携や細かな出荷管理が必要となり、他の業務もある中、現在の仕組み（担当者が変わる）では困難と思われる。
- ・ 来年度は今年度の内容を踏襲しつつ、新たな担当者とともに、これまでの経験を活かしてより良い栽培管理・販売活動をしていきたい。